

皆さんお元気ですか

2017年5月の出来事を綴っています。ご笑覧くださいませ。



5月7日、護身術の生徒たちをピザパーティーに招待した。7名が来てくれた。7名のうち3名は、英語で会話ができるので、授業のときも今日も気軽に会話がはずむ。しかし、他の人とは、スペイン語しかできないので、なかなかお互いに話しかけないままだった。みんなでサラダを食べ、つぎに最初に出来上がったピザを食べた。食べ終わったら英語を話さない人たちだけがいっせいに席をたって、キッチンにいて皿を洗ってくれた。まだまだピザを焼くからそのままにしておいて、と言ってもどンドン片付けてしまう。ゴミも出してくれた。私がピザの生地をたいらにのぼしていたら、みんなも手伝いたいといってきた。結局、キッチンに全員が寄ってきて、たのしそうに、会話が弾んだ。私にはよく分からないままだけど、ピザを焼いている間に、「柔道部物語」の漫画本を見せたら、みんなが輪になってその本をみてたのしそうに話している。全員日本語がわからないのに、こちらの人は本当に日本のアニメが好きだ。また、キッチンをきれいに片づけて、全員が一緒に帰っていった。



5月12日、我が家の前の道路の舗装工事をやっていたので撮った。バカでかいダンプカーからアスファルトが流され、それを作業員が一輪車で運んでいた。道路にまかれたアスファルトは、手押しのローラーで固められていた。この作業を見て驚いたことには、道路の両脇に各家の車が駐車されたままで、道路を舗装していた。よって、車の下にはアスファルトをまかないので、つぎはぎのようなデコボコの舗装工事である。普通なら駐車している車全部を道路から追い出して、道路全体を舗装するのではないだろうかと思うのだが。写真を撮っているあいだも、通行止のコーンが道路をふさいでいるにも関わらず、平気で近くに住む家の乗用車がまだ乾いてなく、固められてないアスファルトのうえを通過していく。それを見ている作業員も何も言わない。もっときれいで完璧な舗装工事をしようと思わないのだろうか。通過した乗用車の持ち主も自分の車のことを気にしないのだろうか。これがこの国のお国柄かもしれない。



5月14日、定期昇級審査も終わったので、生徒たちを家に呼んでピザパーティーをした。この国で、ピザの生地を作るのは大変だ。今日のために何回か生地を作ってみたが、最初は失敗ばかりだった。最初にピザ用の粉はどれか。また発酵のイースト菌はどこで買えるのか。から始まった。日本で生地を作ったことがあるので、同じような手順でやったが、生地はうまくふくれなかった。つぎに、ニカラグア人が生地の作り方のビデオを紹介してくれた。スペイン語で分からない。さらに粉の分量や定量カップの大きさも単位もスペイン式で分からない。生徒に解説してもらって、やっと分かった。粉から発酵して生地ができるまでに1日かかった。当日は、トッピングにサラミやパイナップルなどをのせて、美味しくできた。パーティーに参加した生徒が、今回はカレーではなくて、どうしてピザなんですか、と尋ねた。こちらでパーティーと言えばピザは普通なので、先生の作るカレーのほうが良いと言った。ショック。



5月20日、武士道道場での稽古を早めに切り上げて、生徒と一緒に第4回外交団フェスティバルに行った。各国のブースから名産品や食品等が販売され、日本ブースからは、指圧の体験コースもある、との在ニカラグア大使館からの知らせだった。実は、私は今、肩こりに悩まされている。筋肉痛を通り越して、両肘が神経痛だ。ニカラグアで指圧マッサージをしてくれる治療院を探していたところだ。実際に、本ブースで東洋医学大学の生徒さんに、身体全体をマッサージしてもらった。すごい力で揉んでくれていたようだ。マッサージが終わって生徒さんの顔を見たら、汗びっしょりだった。マッサージの直後は、身体が軽くなったようで、良かった。そして、帰宅したら何だか肩が痛くなり、首回りの筋肉がより固くなったようだ。でも翌日は、よくなった。この体験から東洋医学大学が私の住んでいる近くにあることが分かった。当大学での治療について尋ねたら、ニカラグアでも指圧は人気があり、予約してもすぐには診てもらえないとのことだった。でも近くに治療院があることが分かってよかった。すぐに予約して行こうと決めた。

